

これからのまちづくり Q&A

千葉市新基本計画 [概要版]



千葉市

Q1

千葉市新基本計画ってなんだろう？

A

少子超高齢化や人口の減少など、社会構造の大きな転換期において、10年後、20年後を見据え、千葉市の未来を豊かなものとするための、中長期的な市政運営の基本指針です。

基本構想…市政運営の指針として、変化の激しい時代であっても変わることのない恒久的な都市づくりの基本理念・基本目標及び望ましい都市の姿を示しています。

〔基本理念〕人間尊重・市民生活優先

〔基本目標〕人とまち いきいきと幸せに輝く都市

〔望ましい都市の姿〕…①自然を身近に感じるまち・千葉市

③安全で快適なまち・千葉市

⑤はつらつとした活力のあるまち・千葉市

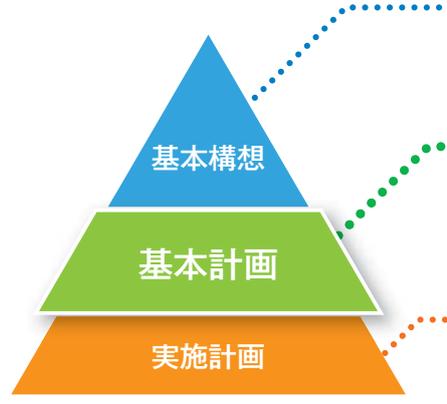
②健やかに安心して暮らせるまち・千葉市

④豊かな創造力をはぐむまち・千葉市

⑥共に築いていくまち・千葉市

基本計画…基本構想で定める基本目標等を実現するため、まちづくりの方向性や実現すべきまちの個性などを示す基本方針、今後の施策展開の方向性などを示しています。

実施計画…基本計画に基づく具体的な事業を示しています。



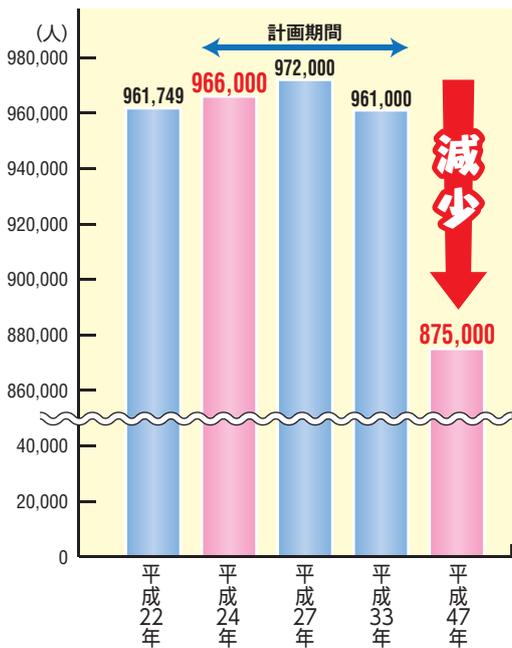
Q2

じゃあ、10年後、20年後の千葉市はどうなっているの？

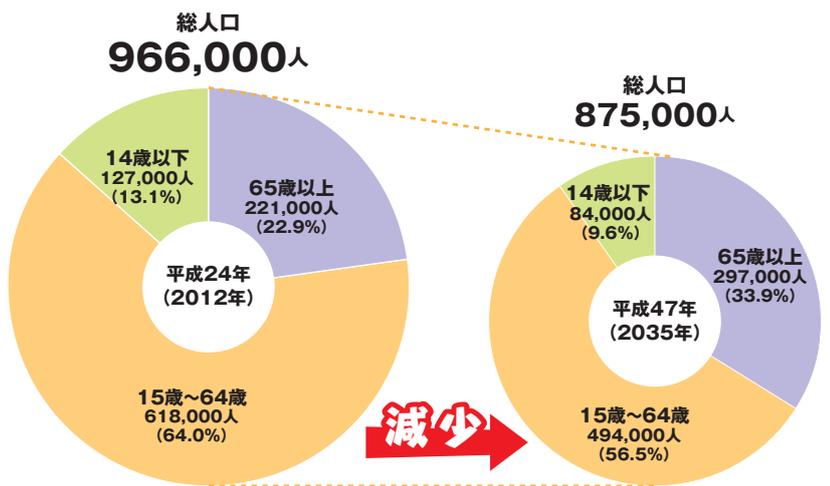
A

市の人口は、平成27年の約97万人をピークに減少していく見通しです。年齢別の内訳は、65歳以上の人口の割合が大きく増え、平成47年にはおよそ3人に1人が65歳以上となる見通しです。

千葉市総人口の見通し



総人口と年齢3区分人口の見通し



平成27年までは増えていくのに、その後はこんなに減ってしまうの！



おじいちゃん、おばあちゃんたちは増えていくけど、私たちみたいな子どもやお父さんのような働く年代の人は減っていくのね。

「基本構想」という大きな目標に近づくために、今後10年間の進むべき方向性を示すのが「基本計画」だね。

航海に例えるなら



基本構想

目標年次: 21世紀を展望

何で新しく基本計画をつかったのかな。

基本計画

計画期間: 10年間
(平成24年度~33年度)

実施計画

計画期間: 3年間

将来人口が減っていくことなどいろいろな課題があることが分かってきたから、それを考えたくえでまちづくりを進めていくためにつくったのよ。

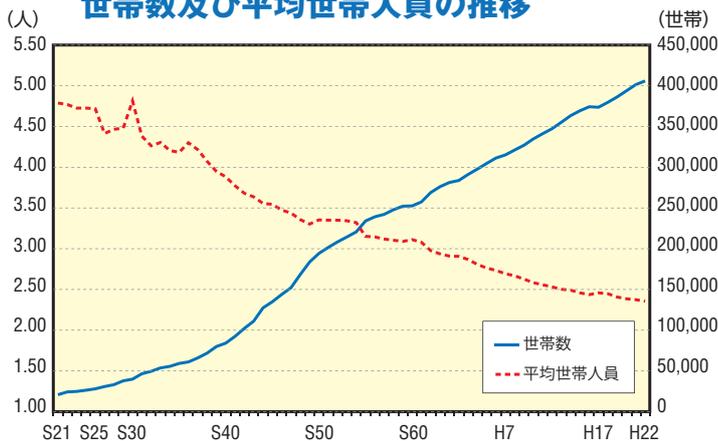
A 一世帯当たりの人数が減り、一人暮らしや核家族^{かくかぞく}※の世帯が増えていく見通しです。

※核家族…夫婦だけの家族や、夫婦と結婚していない子どもだけの家族などのこと。

世帯数はどんどん増えている一方で、一世帯当たりの人数は年々少なくなっているのね。

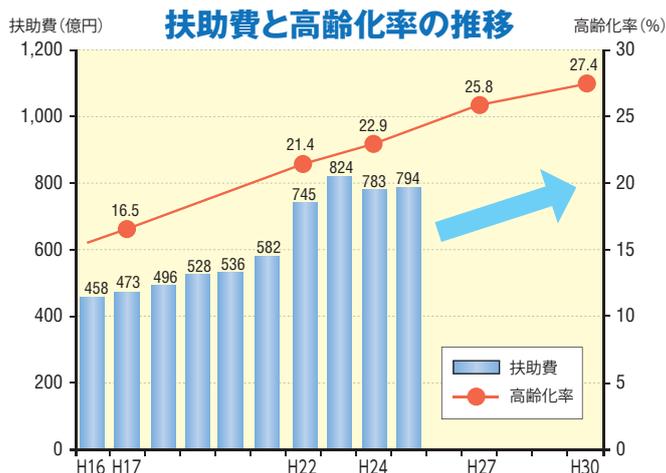
少人数の家族や一人住まいのお年寄りなどが増えているということだね。

世帯数及び平均世帯人員の推移



A 少子超高齢化などにより、これからも扶助費^{ふじょひ}※が増加していくものと見込まれます。また、生活に不可欠な道路や下水道、学校などの施設を使えるように維持していくことにも多くの費用が必要になる見通しです。

※扶助費…高齢者の福祉や生活保護などに使う費用のこと。



ぼくの通ってる学校もだいぶ古くなってから、校舎を直す予定なんだって。となりの学校も同じみたいだよ。

お父さんやお母さんみたいな働く人が減っていくと、市におさめる税金も減っていきそうね。

Q3

では、10年後、20年後のまちづくりを考えるうえでの課題は何だろう？

A

これからのまちづくりにおける、特に重要な課題は次の5つです。

人口減少社会への対応

- 他都市よりも人口減少が緩やかで、年代構成のバランスが取れたまちにするためには、住みたい・働きたい・訪れたいと思われるような都市の魅力づくりが必要です。
- 市民の快適な生活と効率的な都市経営との両立を図るため、市街地のこれ以上の拡散を防ぐとともに、都市機能の集約化によるまちづくりへの転換を図ることが必要です。



今よりも人が減っていくことを前提にまちづくりを考えていかなければならないね。



将来は、バス路線がなくなったり、買い物をするところが少なくなる不安もあるわ。



他のまちよりも千葉市を選んでもらえるようにしなければならぬってことね。



少子超高齢社会への対応

- 元気で健康な高齢者に対しては、引き続き元気で健康に暮らせる環境づくりを進め、介護や介助が必要となる高齢者に対しては的確にサービスを提供することが必要です。
- 少子化に対応するためには、安心して子どもを産み、育てたいと感じることができる環境づくりを進めることが必要です。
- 元気で健康な高齢者を中心とした主体的な活動を支え、市民の力をまちづくりの力へとつなげていくことが必要です。



これからは高齢者が増えるから、自分のような元気な高齢者が積極的にまちづくりに参加すると大きな力になりそうだな。



市外の若い世代からも子育ての場として選ばれるようにならないとね。



環境問題への対応

- 地球にやさしいまちづくりの観点から、引き続き温室効果ガスの削減や3R*の推進などに着実に取り組む必要があります。
- 自然と共生していくためにも、本市に残された豊かな自然環境を守り、はぐくむとともに、都市機能と自然の調和にも配慮する必要があります。

※3R…Reduce(リデュース:廃棄物を出さない)、Reuse(リユース:一度使って不要になったものを再び使う)、Recycle(リサイクル:出たごみを再生利用する)の頭文字をとったもの。



モノをなるべくリサイクルしたり、捨てる時もルールを守ったりして、環境への負担を少なくすることが必要なんだ。



暮らしやすくして緑や海辺がいっぱいある千葉市のいいところを守っていかないとね。



グローバル社会*への対応

- グローバルな視野で活躍できる人材を育成し、企業がそれぞれの強みを発揮できる環境を整えとともに、諸外国を含む優秀な人材・企業との連携を促進する必要があります。
- 人・モノの移動のしやすさを確保するため、総合的な交通ネットワークを充実させる必要があります。
- 情報ネットワーク社会への対応として、ICT(情報通信技術)の利便性が市民生活で実感できるような行政サービスの提供が必要です。



いろいろな分野で、世界に目を向けて活躍できる人を育てていく必要があるのね。



便利な技術を市のサービスにもどんどん取り入れていかないとね。



※グローバル社会…活動や活動に伴う影響が、地域や国にとどまらず、世界的に広がる社会のこと。

自立・分権型都市経営*

- 効果的かつ計画的な行財政運営に取り組む必要があります。
- 中長期的な視点に立った資産経営などの取組みを、他自治体や企業などと連携して進める必要があります。
- 市民やNPOなどによるまちづくりの活動を支えるとともに、互いのコーディネート機能を行政が積極的に行うなど、連携の強化を図る必要があります。



施設が長持ちするように計画的に点検・整備したり、施設の転用や廃止を考えたりする必要があるんだ。



市の建物や道路、下水道にはこれから寿命が来るものが多いから、工夫して維持していかないとイケないわ。



おじいちゃん、おばあちゃんや私みたいなこどももまちづくりに参加して、みんなで協力していくのね。



※自立・分権型都市経営…国から権限や財源が移され、地方自治体が自ら考えて決めることが増えているため、予算を効率的に使い、計画的な行政運営を心がけること。

Q4

では、未来の千葉市をどんなふうにつくっていけばいいの？

A

「まちづくりのコンセプト」のもとで、市民一人ひとりから始まる、未来を見据えたまちづくりを進めます。

まちづくりのコンセプト

ともにまちづくりを進めていくために、みんなで共有する「合言葉」です。

わたしから！未来へつなぐまちづくり

10年後・20年後の未来を見据えて、わたしから！始める。わたしから！広げる。
そんな一人ひとりの「わたし」の力が、「まちづくりを支える力」につながる。
住みやすく、魅力と活力にあふれた千葉づくり。

さあ、いまこそ始めよう！



Q5

どんなまちのかたちにしていけばいいの？

A

日常生活に必要な商業施設などの機能を、歩いて行ける距離に集めるなどの「集約型都市構造」への転換を基本として、土地利用やまちの機能などを考えていきます。

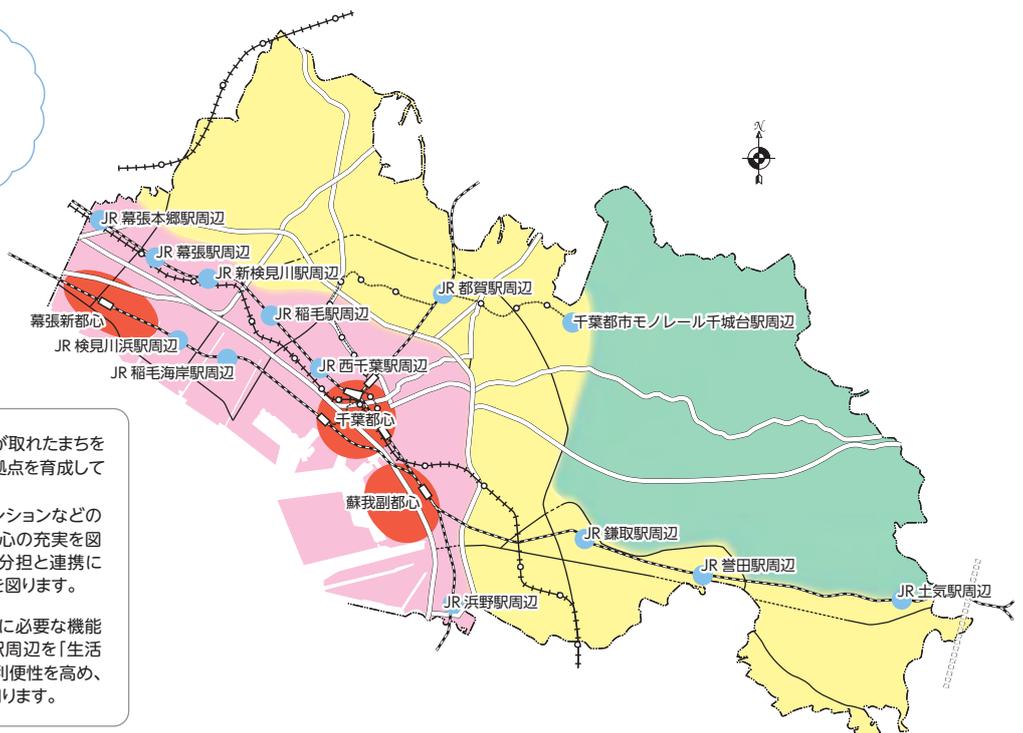


人口が減って、高齢者が増えていくことを考えると、徒歩や公共交通で行けるところに公共施設や買い物ができるお店があるまちが、効率的で、みんなが暮らしやすいだろう…という考え方だね。



長期的な方向性として、まちのかたちを「集約型」に転換していくことが基本的な考え方ですが、市がどのようなまちを目指していけばいいの、市民の皆さんと一緒に考えていきます。

3つの都心はそれぞれ違う魅力があるから、それぞれのいいところを伸ばしていくことが大事ね。



大都市にふさわしい、いろいろな機能のバランスが取れたまちをつくるため、「都心」と「生活機能拠点」の2種類の拠点を育成していきます。



都心

市の経済、産業、コンベンションなどの中心です。それぞれの都心の充実を図るとともに、適切な機能分担と連携により、まちの魅力の向上を図ります。



生活機能拠点

駅乗降客数が多く、生活に必要な機能が集まっている主要な駅周辺を「生活機能拠点」として交通の利便性を高め、商業機能の充実などを図ります。

Q6

では、千葉市は どんなまちを目指していくの？

A

3つの「まちの個性」の実現を目指し、
将来にわたって魅力と活力にあふれるまちを
築いていきます。

未来をつくる人材が育つまち



たとえば
こんなまちになっています

- いろいろな保育サービスや住みやすい環境が整い、若い世代が安心して子どもを産み、育てやすいと感じられる環境が整っています。
- 学校教育の充実などにより、自ら考え、行動し、社会性を備えた豊かな心を持つ子どもが育っています。
- 科学・技術を身近に感じる機会の充実などにより、未来の地域経済を担う人材が育っています。



みんなの力で支えあうまち



未来の千葉市に
来てみたよ。

3つの個性が
実現していて
魅力と活力に
あふれているね。



たとえば
こんなまちになっています

- 元気な高齢者をはじめとして、市民や団体が積極的にまちづくりに参加しているとともに、お互いの連携が強くなっています。
- コミュニティセンターや公民館、学校などで地域交流が活発に行われています。
- 子どもや高齢者、障害のある人などがお互いに理解しあい、支えあっています。

訪れてみたい・住んでみたいまち



たとえば
こんなまちになっています

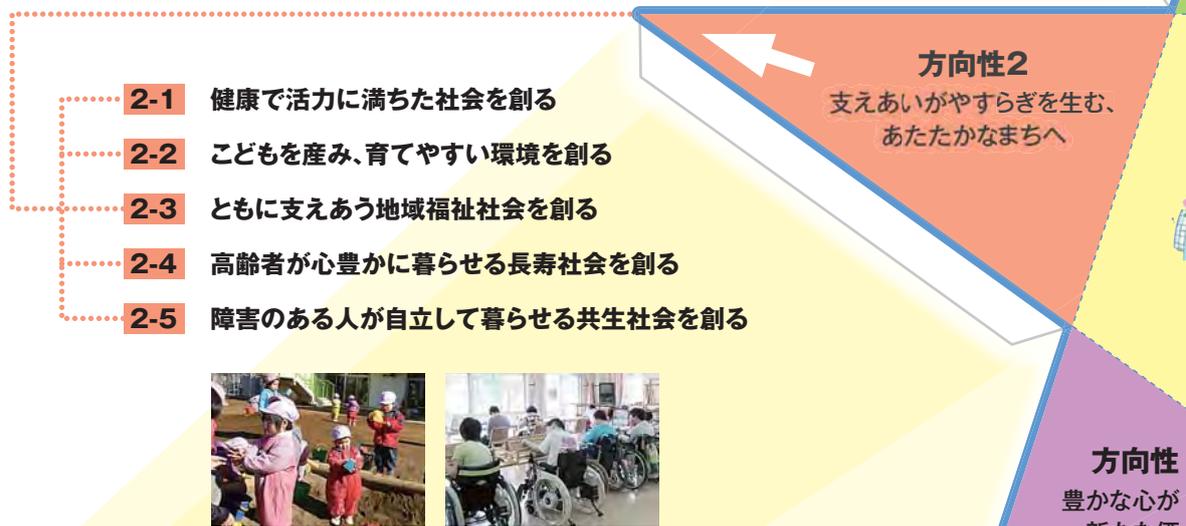
- いなげの浜や千葉みなと、蘇我臨海部などで、海を活かしたにぎわいが生まれ、市民が緑や水辺とふれあい、親しんでいます。
- 新しい産業が生まれたり、働く場が増えたりして、地域経済が活性化しています。
- スポーツを核とした活発な交流が広がるとともに、歴史や文化・芸術に親しめる環境が充実しています。

Q7

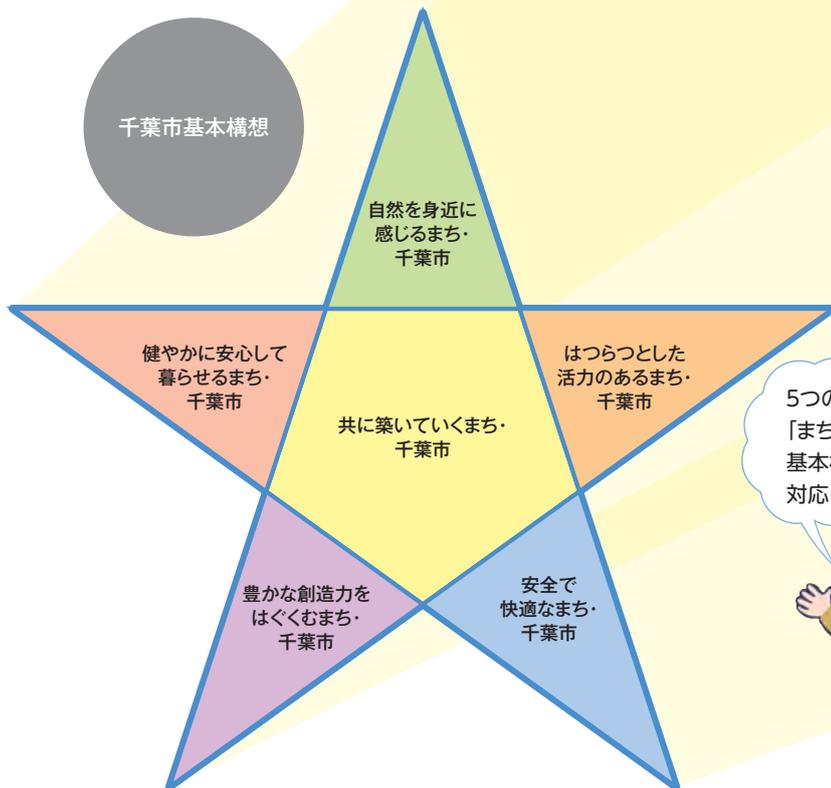
具体的には どんなことをしていくの？

A

「まちづくりのコンセプト」のもとで、「まちづくりの重要な課題」をはじめとする様々な課題に対応するため、5つの「まちづくりの方向性」と、これらの推進を支える「まちづくりを支える力」を定めます。この「まちづくりの方向性」に基づき、それぞれの分野の施策を進めていきます。



千葉市基本構想



5つの「まちづくりの方向性」と「まちづくりを支える力」は、基本構想の6つの「望ましい都市の姿」と対応しているんだ。



3-1
3-2
3-3
3-4
3-5

千葉市新基本計画

- 1-1 豊かな自然を守り、はぐくむ
- 1-2 緑と花のあふれる都市空間を創る
- 1-3 環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る



まちづくりの方向性は、一見バラバラの方向を指しているように見えるけど、組み立てて完成すると一つの頂点に集約されるということだね。



- 5-1 都市の魅力を高める
- 5-2 地域経済を活性化する
- 5-3 都市農林業を振興する



方向性1
豊かな緑と水辺を活かした、自然とともに生きるまちへ

方向性5
ひとが集い働く、魅力と活力にあふれるまちへ



まちづくりを支える力
様々な主体の連携が織りなす「まちづくりの底力」

方向性4
ひと・モノ・情報がつながる、生活基盤の充実した安全で快適なまちへ

3
育ち、値がちへ

未来を担う人材を育成する
生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える
文化を守り、はぐくむ
多彩な交流・連携により新たな価値を創る
市民の力をまちづくりの力へ

「まちづくりを支える力」について

近い将来、人口が減り少子超高齢化が進む中で、行政だけでまちづくりを進めていくことには限界があります。

これからは、みんなでまちの課題を解決するなど、自分たちのまちは自分たちでつくっていく住民自治の原点に立ち戻り、「市民一人ひとりから始まるまちづくり」に切り替えていきます。

これは、市民一人ひとりの活動やお互いの協力を、行政がつなぎ合わせることで、まちづくりの大きな力に育てていくという考え方です。市民・団体・企業・大学などと行政が、まちづくりの担い手として役割を分担して協力しあいます。こうして「まちづくりの底力」が少しずつ育っていき、今後のまちづくりを支えていきます。

底を支えているのは、自分のような市民みんなのちからなんだよ。



- 4-1 市民の安全・安心を守る
- 4-2 快適な暮らしの基盤をつくる
- 4-3 ひと・モノ・情報がつながる基盤をつくる



Q8

私たちが住んでいる区は どんなまちを目指すの？

A

市民に身近な区の特性を活かしたまちづくりに向けて、各区のまちづくりの方向性を示す区基本計画をつくりました。



基本構想

市政運営の基本理念、
都市づくりの基本目標

基本計画

市基本計画

市政運営の
中長期的な指針

区基本計画

区の
まちづくりの方向性

区基本計画の位置付け

- ・市基本計画は、千葉市基本構想に掲げる基本理念や都市づくりの基本目標を受け、市全体のまちづくりの方向性を示しています。
- ・一方、区基本計画は、市基本計画の「まちづくりの重要な課題」や「まちづくりの基本方針」などを踏まえ、区ごとの特色や課題に応じ、市民に身近な行政としての区役所が特に取り組むべき施策などを位置付けています。

「区の将来像」の実現を目指して、
将来、区役所でできることを増やすことも考えて
進めていく計画なんだね。

それぞれ区に住む人たちが実際に話し合った、
各区の課題や目指したいと思う将来の区の
すがたがもともなってるんだよ。





区の将来像

都心のにぎわいと 人々の優しさを感じるまち 中央区

市の中心地としてのにぎわいと、安全・安心を兼ね備えたまちを目指すんだね。



千葉都心



サポーター(ジェフユナイテッド市原・千葉)

ジェフユナイテッド市原・千葉のホームタウンもここ。海辺などの特性も活かした、「千葉の顔」を目指しているよ。



施策展開の方向性

- 1 安全・安心な中央区をつくる
- 2 支えあいによる住みやすい中央区をつくる
- 3 千葉の顔としての魅力ある中央区をつくる
- 4 活力とにぎわいに満ちた中央区をつくる
- 5 みんなの力で中央区をつくる



区の将来像

みんなの力で 川と緑と笑顔が輝くまち 花見川区

こどもたちのためにも、魅力ある花見川と緑豊かな自然環境を守っていくことが大切ね。



花見川



花島公園

花島公園や花見川サイクリングコースがあって、みんなが楽しめるよね。



施策展開の方向性

- 1 豊かな自然と文化が花ひらくまち
- 2 こどもや高齢者の笑顔が花ひらくまち
- 3 安全と安心が花ひらくまち
- 4 心と心のつながりで花ひらくまち
- 5 にぎわいと元気で花ひらくまち



区の将来像

思いやりと笑顔があふれ 人・地域・文化が交流する

文教のまち 稲毛区

学校や研究所が
たくさんある文教のまちだよ。



千葉大学



稲毛あかり祭夜灯(よとぼし)

地域の伝統・文化やイベントなども活かして、
稲毛区らしさを高めていくのね。

施策展開の方向性

- 1 人にやさしく 誰もが安心して暮らせる 安全なまちづくり<安全・安心>
- 2 豊かな心がよいかい 世代を超えて支えあう 福祉のまちづくり<福祉>
- 3 自然や環境にやさしく 緑あふれるうるおいのある 住みよいまちづくり<環境>
- 4 地域の暮らしに根ざした 活力ある産業をはぐくむまちづくり<産業>
- 5 伝統・文化などの地域資源を大事にし 人・地域・学校が活発に交流する ともに輝くまちづくり<文化・教育>



区の将来像

豊かな自然環境と地域資源を活かし 魅力と活力と誇りのあるまち 若葉区

何と言っても
豊かな自然環境が魅力です。



富田都市農業交流センター(シバザクラ)



防犯パトロール隊

これからは高齢者の割合が
高くなるから、元気な高齢者も
一緒になってまちづくりに
参加するんだね。

施策展開の方向性

- 1 区民一人ひとりが担うまちづくり
- 2 とともに支えあい、ともにはぐくむまちづくり
- 3 安心して便利に暮らせるまちづくり
- 4 愛着と誇りを持てるまちづくり





区の将来像

豊かな自然と地域の特性を活かし みんなが助けあい 住み続けたいまち 緑区

自然豊かな地域もあれば
住宅地もあって、いろいろな
魅力にあふれているね。



昭和の森



子育て世代と中学生との交流

施策展開の方向性

- 1 世代を超え、人々が交流し、助けあうまちづくり
- 2 緑を活かしたまちづくり
- 3 子育てのしやすいまちづくり
- 4 暮らしやすく、住み続けたいまちづくり
- 5 地域の特性を活かしたまちづくり

子育て世代が多いから、
子育てしやすいまちを
目指すんだ。



区の将来像

美しい浜辺と様々な交流のある みんなで創るにぎわいと活力のあふれるまち 美浜区 ～住んでみたいまち、ずっと住みたいまちを目指して～

日本一の人工海浜がある海辺と
幕張新都心が魅力。
千葉ロッテマリーンズのホーム
スタジアムもここにあるよ。



人工海浜(いなげの浜)



団地自治会の活動

施策展開の方向性

- 1 海辺を活かしたにぎわいのあるまちづくり
- 2 魅力ある住み心地のよいまちづくり
- 3 誰もがいきいきと安全・安心に暮らせるまちづくり
- 4 世代や組織を超えた交流の盛んなまちづくり

たくさん団地があるから、
そこに住む人と人とのつながりを
深めて、みんなでまちづくりを
進めていくなだね。



10年後・20年後の未来を見据えて、
わたしから！始める。わたしから！広げる。
そんな一人ひとりの「わたし」の力が、
「まちづくりを支える力」につながる。
住みやすく、魅力と活力にあふれた千葉づくり。
さあ、いまこそ始めよう！



計画の詳細は、市ホームページなどで紹介しています。

千葉市新基本計画

検索



平成 24 年 3 月

千葉市総合政策局総合政策部政策企画課

〒260-8722 千葉市中央区千葉港 1 番 1 号

電話番号 043-245-5046

F A X 043-245-5534

メールアドレス kikaku.POC@city.chiba.lg.jp